

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	施策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	1	生涯学習	教育委員会事務局	鷲阪 文宣

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民一人ひとりが自らの資質の向上や学習を通して多様な交流を広げ、心かよう地域社会の進展のために、生涯学習のまちづくりを進めます。
- 生涯学習活動を進めるための情報提供や、学び続けることのできる環境の整備を進めるとともに、身に付けた知識や経験を社会で生かすことができる仕組みづくりに取り組みます。

2. 令和3年度 of 取組内容及びその成果



・子どもを核とした生涯学習ネットワークの構築について、「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」の実現に向け、名張市社会教育委員会において、検討を行い、令和4年度に、提言書を提出いただく予定です。

・各地域の市民センターが、生涯学習活動の拠点として、また地域住民の学習の場としての機能を果たせるよう、地域での活動や収集した内容を共有するため情報提供を行いました。また、各市民センター等における生涯学習に関する事業を統括管理する生涯学習リーダーをもって組織する名張市生涯学習推進協議会では、市民センター間での情報交換などを実施し、生涯学習の推進を図りました。

・生涯学習講座については、コロナ禍により、定期講座である「名張カレッジ」の計画・募集をすることが困難となり、単発講座として4講座に取り組みました。各回、受講者を公募し、それぞれ好評であり、市の公式YouTubeチャンネルでのオンライン講座とする回では、133回の視聴実績となり、対面開催の参加者以上の視聴数を得ることができました。

・皇學館大學ふるさと講座(年2回実施)でも、2回のうち、1回目は市の公式YouTubeチャンネルを使用しているオンライン講座となりました。高等教育機関と連携等した取組を継続して行い、生涯学習の振興を図りました。

・図書館においては、利用者ニーズを的確に把握しながら、市民が必要とする図書館資料を適切に提供するとともに、市民の図書館への関心を高めるため、郷土資料に関する企画展示等を開催しました。また、コロナ禍により図書館サービスを縮小せざるを得ない状況においても、図書館業務民間委託事業者と協働し、館内掲示の改善や図書館ホームページでの情報発信等を進め、サービス向上に努めました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	
	成果	42.5	41.6	41.7	39.9	42.3		0.0%
市民センター等における家庭教育講座の講座数(講座)	目標	-	-	-	-	-	90	
	成果	85	88	93	36	14		0.0%
市民一人あたりの年間図書貸出冊数(冊)	目標	-	-	-	-	-	7.0	
	成果	6.4	6.2	5.4	4.3	4.9		0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・各地域の市民センターが取り組んでいる地域住民の学習の場としての機能を支援するため、地域での活動内容の収集・共有を行うとともに、地域住民が学習した成果を地域づくりへとつなげる生涯学習の取組が必要です。コロナ禍でも創意・工夫して取り組んでいる活動を、地域づくり組織間で共有・交流を行い、市民が主体的に生涯学習活動が行える環境づくりを整備していく必要があります。あわせて、皇學館大学や近畿大学工業高等専門学校等の高等教育機関とも連携をさらに強化することも必要です。

・図書館における市民一人あたりの年間図書貸出冊数は、前年度に比べ増加しているものの新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う休館やサービス限定のためコロナ以前の状態までは達していません。今後も利用者ニーズを的確に把握しながら、市民が必要とする図書館資料を適切に提供していく必要があります。また、感染拡大防止対策に配慮しながらも、図書館業務民間委託事業者等と協働して、利用者の多様なニーズに応える図書館サービスや取組を行う必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



・名張市社会教育委員会会議の提言も踏まえ、学校、地域づくり組織・市民センターや企業・高等教育機関等との連携・協働により、「まなぶ」「つどう」「むすぶ」の視点に基づき、子どもを核とした生涯学習ネットワークを構築します。

・生涯学習推進協議会の機能を高める取組を進め、地域住民が自己研鑽を続けることができ、学んだ人たちがその学習成果を地域に還元し、市民全体の絆を作り上げていく場の構築に努めます。

・コロナ禍でも、市民の学びを止めないようオンラインを使用するなど、工夫しながら講座を企画します。また、青少年の社会参加活動につながる事業についても、関係団体や高等教育機関等と連携して取り組みます。

・図書館においては、引き続き、市民が必要とする図書館資料の確保に努めるとともに、県内外の図書館とのネットワークを活用することにより、資料を適切に提供します。また、感染防止対策を行う中でも可能な図書館サービスを実施し、図書館業務民間委託事業者と協働して市民の学習意欲を高める取り組みを行うことや、関係団体やボランティアなど多様な主体と連携することで、利用者の多様なニーズに応えるよう努めます。あわせて、多様化・高度化する利用者ニーズに対応するため、指定管理者制度の導入も視野に入れた抜本的な見直しを進めていきます。

・図書館システムに、名張藤堂家関係資料をはじめ、古文書、市出版物等の郷土関連資料をデジタルアーカイブ化すると共に郷土資料館所蔵書籍類を登録することで、市民が郷土資料に親しみ、活用できることにより、郷土愛を育てていきます。

・コロナ禍における利用者の利便性及び避難所機能の確保など、図書館サービスの向上に向け、図書館空調設備の改修工事を実施します。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	図書館改修事業	教育委員会事務局	図書館	コロナ禍における利用者の利便性向上及び避難所機能の確保のため、施設の改修工事を行いました。 ・多目的トイレ床面乾式化及び温水洗浄便器（車いす対応）取替工事 ・空調設備改修工事設計業務委託	1,001	0	43,076